

令和6年度 第1回 宝塚市立図書館協議会会議録

日 時：令和6年7月26日(金) 14時～15時50分（見学除く）

場 所：中央図書館研修室

出席者：委員 上野委員、今北委員、山崎委員、中西委員、西村委員、林委員、三浦委員  
（欠席：神崎委員、藤井委員）

市 番庄社会教育部長(途中退席)、池本社会教育部次長、藤野中央図書館長、  
上木西図書館長、近藤中央図書館係長、大畠西図書館係長、小倉中央図書館職員、西川中央図書館職員

【会議内容】

（藤野中央図書館長）

本日は公私ご多忙の時期にも関わりませず、また、暑い中にも関わりませず、図書館協議会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。はじめに番庄部長からご挨拶をいただきます。

（番庄部長）

図書館協議会への参加は2年振りとなります。本日は、本年度の第1回ということで、来させていただきました。中央図書館が新しく藤野館長が就任いたしました。どうぞ、よろしくお願いします。私は、お隣のベガ・ホールで勤務したことがあり、年報の沿革を見て、当時のことを懐かしく思い出しました。沿革に新しく加えたものが「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」の項目です。我々は、今後100年以上語り継ぐであろう経験をしました。図書館、市役所一丸となって取り組んでまいりました。皆さまのご協力の賜物です。心から感謝を申し上げます。また、皆さまのお蔭をもちまして、子どもの読書活動推進計画を策定することができました。本日はこの件の報告も含めた内容になりますが、作成に当たりましては、図書館協議会の皆さまからの多様なご意見やきめ細かいご意見をいただき、コンサルタントに委託せず、司書や、教職員の方々の力を借り手作りで作成しました。今後とも、忌憚のないご意見などをいただきたいと思いますので、宝塚市の図書館行政を支えていただければありがたいと思っています。教育委員会としましては、子どもたちの読書を支えていきたい、そして読書が生涯学習の中でどれほど大切なものか、読書という大切な体験・経験を次世代に引き継いでいきたいと思っていますので、何卒、ご協力をお願いします。

（藤野中央図書館長）

続きまして、新しく委員を2名の方をお願いすることになりましたので、委嘱辞令をお渡しします。

（番庄部長より委嘱状交付（中西委員・西村委員））

※ 公務により番庄部長退席

（藤野中央図書館長）

それでは、初めての方もいらっしゃいますので、簡単に自己紹介をお願いします。

(上野委員長)

以前、「サンケイリビング」という情報誌の編集に携わっていました。宝塚市を担当したこともありましたが、その後、独立して、広報メディア研究所を立ち上げました。主に、行政広報の指導が中心ですが、エッセイの執筆や映画の評論、その他、理化学研究所の研究倫理委員を長年務め、その関係で、大学で非常勤講師として、生命倫理を教えています。

幼い頃から本が大好きで、図書館や本屋さんが大好きでしたので、宝塚市の図書館行政の仕事に携わらせていただいて、とても嬉しく思っています。このお仕事をさせていただくようになってからは、出張や旅行で地方に行ったときには、その地の図書館を訪れるようにしています。提言をする際のヒントや外から宝塚市の図書館を見るということも非常に大切だと考えています。先日も、佐賀県の武雄市の図書館を見てきました。色々思うことがありましたので、機会があれば、お話をさせていただきたいと思います。委員長を精一杯務めますので、よろしくお願いします。

(藤野中央図書館長)

次に、今北委員をお願いします。

(今北委員)

宝塚市立学校の図書館教育の担当校長を務めています、宝塚市立西山小学校長の今北です。よろしくお願いします。

(山崎委員)

昨年度に引き続き委員を務めます宝塚西高等学校長の山崎です。よろしくお願いします。

(林委員)

林希代子です。よろしくお願いします。留学生対象の日本語教育と、日本語を母語としない子どもに対する日本語教育に携わっています。

(三浦委員)

宝塚市民として委員に応募しました三浦葵です。1年間参加して、図書館の雰囲気の良いことや利用者からの感謝の声を実際にお聞きして、図書館の財産だなと感じました。今年度から子どもが小学生になり、今までとは違う見方で図書館について見られるかなと思っています。

(西村委員)

丸橋小学校でPTA会長を務めています西村梢です。また、読み聞かせボランティアなどもしていて、何か小学校に持って帰れる情報であったり、図書ボランティアの意見など言いたいなと思っています。よろしくお願いします。

(中西委員)

前任者から交代して1年間お世話になります。「テーブルライブラリー宝塚」という団体に所属しています。翻訳グループの代表として参加しています。また、「おはなしぞうさん」という読み聞かせサークルでも活動しています。点訳の仕事もしています。障害者への支援という観点から、参考になることがあれば会への反映をしたいと考えています。よろしくお

願います。

(藤野中央図書館長)

皆さま、ありがとうございます。なお、藤井委員、神崎委員は欠席のご連絡をいただいています。続きまして、池本次長からご挨拶申し上げます。

(池本次長)

皆さま、本日は大変暑い中ご出席いただきまして大変ありがとうございます。社会教育部次長の池本です。4月から着任し、図書館については十分に精通していない部分もありますが、精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

(藤野中央図書館長)

中央図書館長の藤野です。4月から館長職を務めています。図書館には35年間勤務しています。市民の方に役に立つ図書館にならないかなと思って勤務してきました。よろしくお願いします。

以下、市職員の自己紹介

(藤野中央図書館長)

次に、本日の協議会の委員の出席状況について、事務局からご報告します。

(西川中央図書館職員)

本日の協議会は、協議会規則第4条第2項に規定しています定足数につきまして、9名中7名が出席されており、過半数を超えていますので、協議会が成立していることを報告いたします。

(藤野中央図書館長)

ここで、議事に先立ちましてお知らせいたします。レジュメにも記載していますが、本日は議事の最後に、普段なかなか入れない中央図書館の書庫などを見学していただくことを予定しています。

それでは、議事に入ります。議長については、協議会規則第4条第1項により、委員長が議長を務めることになっていますので、ここからは、上野委員長にお願いいたします。

(上野委員長)

それでは、「議事（1）令和5年度事業報告について」を議題とします。事務局からご説明をお願いします。

(藤野中央図書館長)

「沿革」の令和5年度についてですが、中央図書館では、雨漏りが課題となっており、建物が築後45年を経過しており、その調査を行いました。どうやって工事を行うのが課題となっています。コロナに関して、ブックスタート事業が従来通りの、読み聞かせをしながら本をお渡しするということが再開できました。コロナ対策はほぼ終了しました。また、館内照明のLED化を行いました。コンピュータの更新を本年4月から行い、順調に稼働しており、更新に伴い、新しいサービスも開始しました。

(近藤中央図書館係長)

引き続き、図書館年報を抜粋した資料に基づき、令和5年度の事業報告を行います。現在は作成途中ですが、確定している数値をご説明します。まず、「4 蔵書数」ですが、図書館全体で691,155冊です。この内、児童書は約28%で、残りが大人用と捉えていただければと思います。次に、「ウ 蔵書冊数の推移」ですが、本年度は、昨年度に比して4千冊ほど減になっています。図書館では、古い情報の図書や汚破損の図書の廃棄に努めていますので、減少傾向にあります。図書館全体のスペースからは、年間68万冊から69万冊で推移しています。次に、「5 利用券登録」ですが、登録者数については、全国の図書館で決まりがある訳ではなくて、当市の図書館では、過去3年間に貸出のあった登録者数を実登録者数としています。令和5年度は、46,455人で、表の下の段の数値は1年間で、令和5年度に貸出のあった利用者の数です。令和4年度より8%程増えていますが、令和4年度は西図書館が休館したことなどがあって、単純な比較はできていません。市民登録率は約19.3%です。次に、「イ 年代別」をご覧ください。1年間に登録のあった利用者数です。令和4年度と比較すると、幼児から40代の利用者数が減っています。50代以上は増えています。

31,000人の登録者数のうち、幼児から中学生までが約15%、60代以上が約32%となっています。中間層は約40%となっています。40代が一番登録者数が多く、ご自身が借りる場合と、子どもの本を借りる場合があるので、多くなっているのではないかと推測されます。次に、「市外内訳」ですが、阪神間7市1町の住民はカードを作って、本を借りれますが、西宮市の方が宝塚市の図書館を利用されることが最も多い状況で、西図書館が西宮市に近いことからだと思われます。伊丹市、川西市は山本南分室が近いことから、次に多くなっています。次に、「6 貸出」ですが、各館の貸出数を表示しています。3月に休館もありましたが、令和4年度と比較すると、減少している状況です。次に、「イ 有料郵送貸出」ですが、来館することが困難で有料での郵送貸出を行っている数値で、令和5年度は利用が少なかった状況です。次に、「育児介護による無料郵送貸出」ですが、満1歳未満のお子さんを持つ保護者で来館が困難な方に対して、無料で郵送するサービスです。昨年度より少し減っています。次に、「オ 年度別貸出冊数」ですが、コロナによる休館や、空調工事による休館などがありましたので、総数は参考にならないところがあります。「キ 1日平均貸出人数・貸出冊数」ですが、令和4年度と比較すると、減少している傾向ですが、山本南分室は、昨年度と同数です。次に、「7 来館者数」ですが、図書館入口にある来館者カウンターで計測した数値ですが、貸出冊数は西図書館の方が多いのですが、中央図書館は、閲覧室や調査相談室、聖光文庫などいろんな目的で来館される方が多いので、多くなっています。

貸出冊数は減っているが、来館者数は増えています。次に、「8 予約」ですが、パソコン、スマートフォンを使っての予約が、全体の86%となっています。次に、「予約件数の推移」ですが、令和4年度より少し減っていますが、令和5年度は休館もしましたので、総合的に

は、横這いか少し増えている状況です。予約して利用される方が多く、カウンターにいるときも実感します。次の「10 相互協力」は、他の図書館から借り受けた本の内訳を示しています。阪神間7市1町は、無料の宅配便での取り寄せが可能で、その件数を示しています。戻りまして、「9 レファレンス」ですが、令和元年度から減少している状況です。辞典を使って調べものをするよりも、インターネットで調べる人が多いのか、利用がかなり減っている状況です。ただし、中央図書館には市史資料室があって、そちらへの問い合わせは一定数あり、市史資料室への問い合わせについては含んでいません。

次に、中央図書館の行事ですが、昨年度より開催日数も参加人数も増えています。内容については、特に変わったところはありませんが、参加人数は増えています。この中から、ピックアップしてご説明します。「大人向け行事」では、「レコードコンサート」を行いました。元大阪フィルハーモニーのヴァイオリン奏者である伊藤先生を迎えてのCDによる演奏です。その下の「マチ文庫」は、市民によって宝塚に関する本を作っていただき、それを紹介するイベントです。その下は、宝塚大使である細川貂々さんによる、生きづらさを感じている人たちの会を図書館でも開催しています。次に、「宝塚好奇心クラブ」という認知症にやさしい図書館という形で、好奇心を向上させていく取組で、例えば、「認知症サポーターレベルアップ講座」や「認知症サポーター養成講座」などを行っています。子ども向け行事については、毎週土曜日「おはなし会」や10か月から2歳児向けの「えほんであそぼ！」を定例で行っています。また、「手話で楽しむ絵本の世界」は、障碍福祉課と共催で、手話による絵本の読み聞かせを毎月行っています。また、「みんなでASOBO！」は、英語による絵本の読み聞かせで、ボランティアによる講師の方の協力を得て新たな取組を行いました。また、「馬頭琴演奏会」は、演奏家をお呼びして、「スーホーの白い馬」の読み聞かせやモンゴル衣装の試着などを夏休み企画として行い、たくさん子どもたちが参加されました。

次に、市史資料室では、「古文書の入門講座」や「たからづかデジタルミュージアム」などを行い、各分室でも、子ども向けの行事を行っています。

(大島西図書館係長)

次に、西図書館の行事をいくつかピックアップしてご説明します。西図書館でも、中央図書館と同じような行事を行っています。子ども向けの行事としては、「おはなし会」を行っていますが、この「おはなし会」を行うグループの「おはなしぞうさん」のボランティアを育成する「ストーリーテリングボランティア養成講座」を毎年開催しています。また、図書館の職員が行う子ども向けの行事としては、「えほんであそぼ」や「2歳からのみんなであそぼ！」「3・4・5歳からのみんなであそぼ！」などを行っています。子どもたちの年齢に合った絵本や手あそびなどを職員と一緒に楽しんでもらう行事です。夏休みには、「夏休み本見つけ隊」と題した行事を初めて開催しました。レシートに書かれた本の所在を基に本を探してもらうというイベントを行いました。また、小学生から高校生向けで、斉藤洋先生の講演会を行いました。低学年向けと高学年向けで、それぞれ開催し、好評を得ました。

また、西図書館の特色あるイベントとして、「ぬいぐるみのおとまり会」を毎年開催していきまして、子どもたちが家からお気に入りのぬいぐるみを持ってきて、ぬいぐるみと一緒におはなし会に参加してもらい、その後、ぬいぐるみは図書館に泊まって、図書館の色々な場所を探検して、その探検している様子を写真に撮って、翌日お迎えに来た子どもたちにプレゼントするという企画です。

（西川中央図書館職員）

それでは、中央図書館の決算について説明いたします。資料№.1 3「2 2 決算額」を基に説明いたします。まず、「1 報酬」の「図書館協議会委員報酬」は、皆さんへお支払いする

報酬です。次に、「7 報償費」ですが、こちらは、イベントを行ったときに、講師の方にお支払いする報償です。お一人あたり5,000円から20,000円をお支払いしています。次に、「9 旅費」ですが、中央図書館の職員が分室へ行くときや他市での研修に参加する際の

交通費に係る支出です。次に、「10 需用費」の「消耗品費」ですが、新聞代が約690千円、雑誌代が約1,100千円で、その他年度版の図書などで計約2,600千円になります。次の「図書データ購入費」ですが、宝塚市全館分の図書データ費用を中央図書館の予算で購入しており、約2,130千円です。次に、ブックスタートですが、ブックスタートで使用する絵本と持ち帰り用のバッグです。燃料費は、公用車のガソリン代で、移動図書館の燃料代は、委託料に含まれています。印刷製本費は、イベントのチラシなどの印刷製本費です。光熱水費は、ガスや電気などの使用料で、戦争や円安の影響で随分高騰しています。去年は、政府からの援助がありましたので、少し押さえられましたが、今年はもっと苦しい状況です。施設修繕料は、例年は2～3,000千円程度の費用でしたが、令和5年度は1,190千円程度に抑えられました。次に、「11 役務費」の「郵便料」は、切手代と返却が遅れている人への督促状です。電信電話料は電話代、手数料は、カーペットの洗浄手数料、非常用発電機の点検手数料や、去年は、図書館システムの更新時期でしたので、データ抽出手数料が約900千円ありました。次に、「12 委託料」では、清掃・警備などの「建物総合管理等委託料」が最も大きい金額で、約12,000千円です。その他、「図書運搬業務委託料」は、中央・西図書館、各分室間の本を運ぶ業務や「中山台分室窓口等業務委託料」、「移動図書館運行管理業務委託料」など図書館固有の委託業務を含め、約27,700千円になります。次に、「13 使用料及び賃借料」は、「図書館システム借上料」とコピー機のリース料です。備品購入費は、18,000千円が通常の前算額で、その他寄附金などを含めての決算額となっています。

次に、「18 負担金補助及び交付金」は、日本図書館協会や兵庫県図書館協会、阪神地区公共図書館協議会への負担金です。続いて、「建物保全」とありますが、先ほど説明しました通常の前算とは別に、建物の大規模な修繕や更新に関する費用が別の前算枠で、「雨漏り調査手数料」については、雨漏りの箇所や原因が不明であったので、今回、調査を行った

ものです。特殊な光線を当てると色が付く水を建物に浴びせて、追跡調査することによって修繕する箇所を特定する調査でした。雨漏りを改善するためには、中央図書館の開口部の窓を全て取り替える必要があつて、相当な費用と期間が必要で、半年から1年間、休館しないとできないことになっています。予算計上の方法として、まずは設計委託費が必要となり、その翌年に、実際の工事となります。休館する場合は、複合施設であるベガ・ホールも休館ができるかなどの状況を踏まえて慎重に予算を計上して、実施の時期を定めていく市全体で考えていく必要があります。次の「LED照明設備賃借料」については、全館の照明をLED照明に取り替えたもので、10年間のリース契約となります。また、決算額には記載がありませんが、建物の開架部分については、空調機器の直焚き吸収式となり、ガスヒーポン式もあり、2種類の空調設備があります。各室の空調は、ガスヒーポン式のフロンガスを使用したシステムで、面積の大きい開架室は直焚き吸収式でフロンガスを使用せず、水を使用した方式で巨大な部屋が必要となります。設置後18～19年経過していますので、更新するのですが、契約は令和6年2月に締結し、令和5～7年度の3か年の期間となりますが、令和5年度は出来高がないので、決算額としては計上がありません。令和7年1月～4月に現場での作業を行います。この間、ベガ・ホールは休館する予定ですが、図書館は休館せずに更新する予定です。暖房がない状態で開館する予定です。

(上木西図書館長)

西図書館の決算について、ご説明します。資料は、中央図書館の下表になります。総額で、約33,800千円となります。金額な大きなものを中心にご説明します。まず、金額は少ないですが、子どもの読書活動推進計画関連事業として、小学生から高校生向け講演会に

斉藤洋先生をお呼びして実施しました。「7 報償費」からお支払いしました。次に、「10 需要費」の「消耗品費」ですが、中央図書館でも説明がありましたが、雑誌や新聞、その他事業や図書館運営に必要な消耗品などを購入し、約3,500千円を支出しました。次に、「光熱水費」ですが、先ほども説明がありましたが、特に電気代につきましては、値上がりが続いています。西図書館では、平成31年度から、経費節減を目的に、電気事業者との契約を関西電力からミツウロコクリーンエネルギー㈱に変更しましたが、やはり電気代は上昇傾向にあります。「13 使用料及び賃借料」のうち、「共益費等」ですが、西図書館は、西公民館との合築施設で、施設の管理につきましては、西公民館と一体的に行っています。西公民館は市の直営ではなく、指定管理者であるアクティオ㈱が施設管理を行っています。その経費を共益費として、市からアクティオ㈱に支払うもので、中央図書館では、「12 委託料」に該当するものです。それと、この「共益費等」の中には、LED照明に係る経費も含んでいます。西図書館では、令和3年度に、全館LED照明工事を実施しており、リース契約で支出しています。次に、「17 備品購入費」について、「図書購入費」につきましては、西図書館では、ここ数年、13,000千円を維持しています。令和5年度は、約9,200冊の本を購入しました。令和3年度12月から令和4年度5月まで、西図

書館は6か月間休館しまして、大規模な空調工事を実施しましたが、昨年度は大きな工事はありませんでしたので、説明は以上になります。

(上野委員長)

丁寧な説明をありがとうございました。説明を受けまして、何か事務局への質問がありましたら、どなたからでもどうぞ。

(三浦委員)

印象的だったのは、来館者数は上がっているのに、本の貸出数は下がっていることです。予算を獲得するときに、来館者数か貸出数か、どちらが評価されるのでしょうか。それと、図書貸出数が少しずつ減っていくことで、図書購入費に充てられる額に何か影響が出る可能性があるのか気になりました。

(池本次長)

手元に資料がないのですが、市が行う事業につきましては、毎年度事務事業評価という形で事業の評価をしています。図書館の業務につきましては、貸出数が成果指標だったかと記憶しています。

(上木西図書館長)

少し補足しますが、市の事務事業評価では、1人あたり貸出冊数を指標としています。人口が類似の20～30万人の全国の市と比べると、宝塚市は上位に位置しており、市民の皆さんがたくさん本の貸出をしていただいていることになります。それと、来館者数ですが、来館者数についても指標とすることになりましたので、中央・西図書館の入口に来館者カウンターを設置し、集計を行い、ここ3年間ほど事務事業評価の指標として数値を記載しています。先ほどのご質問の点につきましては、来館者数も指標としています。また、図書購入費につきましては、何とか西図書館では、13,000千円、中央図書館では、分室も入れまして18,000千円を維持しています。

(近藤中央図書館係長)

先ほどの貸出冊数について、総数や1日平均で申し上げましたが、人口の割合で申し上げますと、市民1人当たりの貸出冊数は8.4冊になります。現状、8冊ですが、最終的には9冊を目指しています。休館やコロナの影響があつて、総数では減少していますが、市民1人当たりでみますと、それほど減っていない状況です。

(上野委員長)

非常に核心に触れる質問でした。どんなことでも結構ですので、ご質問をお願いします。

(林委員)

中央図書館では、直焚き方式とフロンガスを使う方式とのことですが、西図書館ではどうですか。

(上木西図書館長)

令和3年度から4年度にかけて空調を一新しました。手元に資料がないのですが、フロンは使用していないのではないかと思います。機器は最新の空調機器を導入しています。



方式はガスではなく電気式です。

(林委員)

中央図書館で、フロンを使用することは何か理由がありますか。

(西川中央図書館職員)

施設や設備について、空調機器自体がコンパクトになることがフロンガスを使用する方式の特徴で、直焚き方式ではかなり大きい部屋が必要となり、敷地面積から難しいのではと思います。フロンガス方式にしても、巨大な冷蔵庫のような機器が7機あって、フロンガスを使用するガスヒーポンという方式で、各室ごとに対応しています。各室ごとに細かく制御できるので、ガスヒーポンのメリットかと思います。それらを考慮して、各室ごとはガスヒーポン、大きな開架室は直焚きにしています。

(林委員)

照明のLED化について、リース方式とのことですが、リースの方がコストが安いからですか。

(西川中央図書館職員)

リースの特徴は、一度に支払う金額が少なくなり5年や10年分割になるので、世代間の負担公平といった特徴があります。それと年度ごとの支払額が少なくなるので、導入しやすいということです。しかも、10年後に所有権が市に移る契約になっています。また、リース期間中は、メンテナンスもリース会社の責任で対応してくれることになっています。メリットが大きい契約かと考えています。

(上木西図書館長)

西図書館のLED化もリース方式で契約しています。経費で言うと、一度に購入した方が総額は安くなるかと思います。というのは、リース契約ではリース料が発生しますが、市では、一度に多額な額を支払うことよりも、リース料を負担してでも平準化して支払うことが一般的になっています。メンテナンスも含め、総合的に考えるとメリットが大きいということで、リース契約の方式を採用しています。

(池本次長)

市全体でも、公共施設マネジメントを進めていまして、照明のLED化を5年間のリースという方針が示されています。少し前は買い取りとリースを比較して、安価な方をとということでしたが、最近は平準化していくということで5年間のリース期間を設定していることが多くなってきました。10年の方が分割した金額が安くなるのではないかとということも議論されていますが、LEDの不具合が5年以内が多く、6年目以降はあまり不具合がないこともあって、メンテナンスの部分も含めて5年間のリース期間としています。過渡期にあって、丁度その方針が出されたのが昨年末でしたので、中央図書館では10年になります。

(中西委員)

2点質問があります。1つは、先ほどの報告で、中央図書館の雨漏りがひどいので調査して原因が分かったということでしたが、工事には半年から1年かかって休館するとか窓を

全部交換するとかという説明がありましたが、6年度の予算の資料を見ると、「工事請負費」約38,000千円は、雨漏り対策の工事を実施するということですか。

(西川中央図書館職員)

資料中の「建築保全」、「工事請負費」の約38,000千円ですが、先ほども少しご説明しました空調設備工事で、令和5～7年度の3か年の2年目で約35,000千円と申しましたが、その部分、表中の「空調設備更新工事」35,983,200円と「非常用発電機更新工事」約2,000千円が該当し、雨漏りの対策に関する工事とは全く関係のない工事費の予算額でして、雨漏りについては、ベガ・ホールの休館の事もありますので、十分に日程の調整を行ってから、また、財政当局その他の調整も踏まえて市全体で決定していくことですので、今決定していることは無い状況です。

(中西委員)

雨漏りについて、図書館には紙の蔵書がありますが、それらについての影響は大丈夫なのですか。

(藤野中央図書館長)

雨漏りが見つかった箇所への対症療法でしかないのですが、今のところ蔵書も大丈夫です。

(中西委員)

もう1点ですが、資料に「郵送貸出」とあります。説明に、育児・介護や障害者サービスも含んだ数字とありますが、「障害者サービスによる貸出数は、24ページ「障害者サービス」に記載」とありますが、テープライブラリー宝塚は視覚障害者への音訳を行っているグループですので、実際の数字を知りたいのですが。今回の資料では割愛されている24ページにはどう記載されていますか。

(近藤中央図書館係長)

本日の見学後に資料をお渡しします。

(上木西図書館長)

手元にある前年度の令和4年度の年報の数値となりますが、「点字図書」が21冊、「デージー図書」が1,257冊、「その他音源」が30冊、「一般図書（郵送貸出のみ）」で422冊、総数で1,730冊となっています。令和3年度が1,628冊で若干増えています。

(上野委員長)

私からお聞きします。若年層の来館が減っているとの説明がありましたが、原因はどういったことが考えられますか。分析はされていますか。

(藤野中央図書館長)

まずは、人口の減少、少子化の影響です。ブックスタート事業で、4か月健診の子どもに本をプレゼントしていますが、数年前は年間にお渡しする数が約2,000人であったのが、去年度は1,600人程に減っています。ただ、小さな子どもが本を読まなくなったとは思

っていません。今北先生どうですか。

(今北委員)

未就学の子どもは保護者と一緒に図書館を訪れるという姿をよく見かけますので、昔と比べて、そんなに少なくなっていないことは藤野館長が言われた通りかと思います。私は西図書館をよく利用しますが、低学年の小学生を多く見かけます。極端に少なくなってくるのは中高生かと思います。塾や部活動で忙しくなって、高校生では受験もあって忙しくなって、本を読まなくなります。小学生も3, 4年生くらいから受験に向けて塾へ行くので、図書館に行く回数も減ると思います。

(山崎委員)

資料の「5 利用券登録」の「イ 年代別」を見ると、数字で表れているかと思いますが、中学、高校でタブレットを持たせていることが大きな原因かと思います。今まで、探求学習や調べもの学習で、学校の図書館や地域の図書館で調べていたものが、本校でもそうですが、1人1台タブレットを持っており、学校にもw i - f i設備がありますので、その場で、すぐにキーワードを検索しています。タブレットを活用することで、図書館の利用が少なくなっているかと思います。

(上野委員長)

タブレットが配布されたのはコロナ禍の中ですね。ごく最近のことで、影響が如実に表れていることですね。

(藤野中央図書館長)

宝塚市でも、「G I G Aスクール構想」でタブレットを全員に配布しています。3～4年前だと思います。また、個人ではスマートフォンを所有しています。SNSなどに時間を割いて、本を読まなくなっていると思います。

(上野委員長)

イベントについては、けっこう人が集まっているかと思いますが、どうでしょうか。

(藤野中央図書館長)

集まっているものもありますし、そうでないものもあります。おはなし会で、絵本の読み聞かせとストーリーテリングを加えた内容で、中央・西図書館で開催していますが、集客に苦勞しています。

(上野委員長)

時代の流れもあるかと思いますが、何か対策や工夫がこれからは必要かもしれませんね。では、次に、「議事(2) 令和6年度事業について」を事務局から説明をお願いします。

(西川中央図書館職員)

予算に関する資料について、「建物保全」について、「LED照明設備借上料」は、10年リースの2年目で年間780,000円、「空調設備更新工事」は2年目で約35,983千円、「非常用発電機更新工事」が約2,000千円と数パーセントで翌年度完了時に30,000千円ほどの費用負担が発生します。他は、光熱水費は昨年度の決算額よりも若

干増やして要求しています。

(上木西図書館長)

西図書館でも、開館30年を迎え老朽化が進んでいます。エレベーターの更新を令和7年度に実施する予定ですので、「エレベーター更新工事設計委託料」として、令和6年度に、2,145千円を計上しています。

(大島西図書館係長)

先に、西図書館で令和6年度に予定している行事について、ご説明いたします。お手元にお配りしているチラシで、「夏休みは、図書館へ行こう!2024」について、西図書館で今年の夏休み期間に企画した行事内容をまとめたチラシです。「夏休み 本見つけ隊」や上映会、「手作りの時間」で工作を行ったりする予定で、それらに参加した際に、スタンプラリーでスタンプがたまった人は景品がもらえるという仕組みです。次に、「もりといずみさんがおしえる「パン どうぞ」ワークショップ」のチラシをごらんください。絵本の「パン どうぞ」や「どうぶつクッキー」でおなじみの、絵本作家で彦坂工房のもりといずみさんによる木版画の刷り工程を子どもたちに体験してもらってオリジナルのミニ絵本を作るというワークショップです。こちらは子どもの読書活動推進計画の関連事業として毎年実施している、例年の講演会に代わって行うワークショップ形式で開催するものです。次に、「インドのえほんとうしぎな楽器 シタールとタブラえんそうかい」のチラシをご覧ください。今年、西図書館が開館30周年を迎えますので、開館30周年記念行事としてライブラリーコンサートを行うものです。シタールとタブラという、インドの弦楽器と太鼓を演奏する演奏者を招いて、インドの絵本の読み聞かせをしながらの伴奏や、インドの伝統音楽を演奏してもらう予定です。

(藤野中央図書館長)

中央図書館も色んな行事を予定していきまして、チラシも配布していますが、説明は割愛いたします。面白い企画として、化粧品資生堂の方に来ていただいて、65歳以上の方に限定して、お化粧の仕方を教えてもらい行事を行い、応募が殺到しました。

(中西委員)

化粧品は図書館とどういう関係があるのですか。

(藤野中央図書館長)

「宝塚好奇心クラブ」という認知症の方を支援する取組を行っていて、その中で企画したものです。

(上野委員長)

資生堂の販促につながらないですか。

(藤野中央図書館長)

販促や商品をお薦めするようなことはしないで実施し、そのことから応募も多かったのではないかと思います。個人情報漏れることも一切ありません。

旧松本邸について、お知らせします。中央図書館内の市史資料室が中心となって管理して

いる、昭和12年に建築された西洋スタイルの住宅です。春と秋に一般公開していますが、ご存知でしょうか。もう一つ、デジタルミュージアムについて、絵はがきや古地図など宝塚市の歴史のある紙の資料をデジタル化したもので、宝塚市史もデジタル化して、キーワード検索もできる形にしています。また、旧松本邸を360°パノラマ化して自分で動かしながら観ることもできます。子どもの読書活動推進計画が4月に完成したのですが、本編の3ページに「国及び県の動向」として、子どもの読書活動の推進に関する法律の、理念に当たる部分を抜粋して載せていますが、これを受けて、宝塚市では、「伝えよう読書の楽しさ 支えよう子どもの読書」をスローガンとして載せています。これは、子ども同士で伝えることもありますが、私たち大人が伝えていくことを進めていこうという計画です。

(今北委員)

図書共同隣地研修会を毎年夏休みに開催しています。子どもたちに図書館に来てもらおうということで、教職員に啓発することが一番ではないかと考え、今年度も中央図書館での隣地研修を開催する予定です。ストーリーテリングと紙芝居、ビブリオバトルを実施しようと考えています。ストーリーテリングは、ボランティアグループの「ひばの木」、紙芝居サークルの「ちょうちょ」は、小浜の首地蔵の紙芝居をしていただけます。例年11月に西公民館でビブリオバトルを実施していますが、今回は少し時間を短くして、教職員と藤野館長、私とでビブリオバトルを行う予定です。教職員に図書館を知ってもらって子どもたちに薦めるなど、また、良元、西山、末広など西図書館に近い学校は3、4年生を中心に、全員が図書館に行って本を借りるという体験をしています。子どもたちが図書館に連れて行ってもらふ経験を増やしていくために、このような研修を行っています。当日は、藤野館長から、子どもの読書活動推進計画の説明も行っていただきます。これからも、このような研修を藤野館長と協力して行っていききたいと思います。

(藤野中央図書館長)

令和5年3月3日に、図書館協議会から提出いただいた、山本南分室の拡張についての意見書を受けまして、昨年度、できる範囲での拡張についての約4,000千円の予算要求を行いましたが、結局、予算化はできませんでした。そのことに関して、本年6月市議会で、北山議員が質問されました。図書館としては、再度、予算化を目指すとの答弁を行い、今後、進めていくということが経緯となります。

(上野委員長)

皆さんと一緒に考えて提言しましたので、是非実現するようにお願いします。

それでは、ただ今の説明も加えまして、質問がありましたらどうぞ。

(西村委員)

丸橋小学校は、中央図書館とは距離があり、学校の決まりでは、5年生になったら、2人以上で電車に乗って中央図書館に行けるということで、子どもだけで図書館に行く場合、耐震化などは大丈夫ですか。資料に耐震化工事などのことも載っていないくて、どうなのかと気になりました。

(西川中央図書館職員)

明確にお答えできないのですが、竣工は昭和56年ですが、阪神・淡路大震災も乗り切ってきました。建物の保全などを管理している市の施設マネジメント課からも、耐震についての指摘などはありませんので、大丈夫なのかと考えています。

(藤野中央図書館長)

この機会に確認したいと思います。

(中西委員)

枚方市の広報の点訳を行っていますが、節電のために公共施設を利用しましょうなどの記事があるのですが、宝塚市の広報では見当たらなかったのですが、どうでしょうか。

(池本次長)

市では、クールシェアスポットという取組を公共施設だけではなく、民間の施設も含めて、昨年度くらいから実施しています。今年度から本格的に実施し、広報誌にも掲載されているのではないかと思います。図書館も対象です。

(中西委員)

先ほど説明された西図書館の子ども向け行事について、非常に興味があるのですが、大人は参加できませんか。

(大畠西図書館係長)

今回は、子どもを対象にしたイベントになりますので、大人の方のみの参加はご遠慮いただいています。インド音楽の演奏会につきましては、中央図書館でも、別の演奏者になりますが、演奏会が開催されます。そちらは大人の方も参加できます。

(上野委員長)

いろんなイベントを実施されて、図書館の存在を知ってもらうことや、図書館に行きたくなることでリピーターが増えるかもしれませんので、素晴らしい取組だと思います。

今日は、この後、バックヤードの見学があります。終了時間が少し延長となります。

次回の日程について、事務局からお願いします。

(藤野中央図書館長)

通例、年3回協議会を開催していますが、第2回について、ここ数年は分室や西図書館を見学していただきましたが、今回は、先ほども少し説明しましたが、旧松本邸を見学していただくことはどうかと考えています。

(上野委員長)

それでは、ただ今からバックヤードの見学を行います。

※ 中央図書館バックヤード見学後、閉会